

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
行政学				富野 暉一郎	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	2 年次	講義	無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>この講義は行政学の入門編です。現代の社会では、行政は私たちの生活の隅々まで浸透し、行政のあり方が私たちの人生に深い影響を与えています。行政は社会の中でどのような役割を持っているのか、その仕組みはどのようになっているのか、私たちの生活と行政はどのように関係しているのか、そして、私たちは主権者として行政にどのように関わっていくことが必要なのか、などをこの講義で考察していきたいと思えます。</p> <p>講義では、実際に社会で起きている現象や事件などを、行政の視点から分析するほか、身近な行政である市役所を対象に、その業務を学び、職員等との対話を行います。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>①行政とは何か、について基礎的な知識を得。 ②日本の行政の仕組みについて、基礎的な理解ができる。 ③国と地方自治体との関係を理解する。 ④地方自治の役割と課題について知る。 ⑤市職員との対話を通じて公務員に求められる資質について理解を深める。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	イントロダクション この講義で学ぶこと				
第 2 回	三権分立、政治と行政、				
第 3 回	議院内閣制の行政と二元代表制の行政				
第 4 回	日本の行政の特徴				
第 5 回	地方分権と地域社会の再生				
第 6 回	行政の仕組みI 国と地方自治体 地方自治の国際比較				
第 7 回	行政の仕組みII 行政の組織、官僚制度				
第 8 回	行政の仕組みIII 財政の仕組み				
第 9 回	行政と政策I				
第 10 回	行政と政策II				
第 11 回	協働型社会と地域経営				
第 12 回	グループ討議				
第 13 回	市職員との対話				
第 14 回	グループ討議II				
第 15 回	現代行政の課題				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>①次回の講義で学ぶテーマについて、指定された文献・資料等を読み込んでおくことを求めます。(レポート提出を求めることがある)</p> <p>②グループ討議及び市職員との対話については、グループで役割分担を決めて事前学習をします。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)					
評価方法 (割合)	評価基準				
期末試験 (70%) レポート (3回) (30%)	期末試験とレポートについては、①論点が明確に捉えられているか ②講義の内容に即しているか、③論旨に一貫性があるか、の3点について5段階で評価します。また自主的な学習の成果を盛り込んでいると認められるものについては、期末試験で10点以内、レポートで合計5点以内を加点します。				
テキスト (Textbook)	<table border="0"> <tr> <td>【書名】</td> <td>【著者】</td> </tr> <tr> <td>【出版社】</td> <td>【出版年】</td> </tr> </table>	【書名】	【著者】	【出版社】	【出版年】
【書名】	【著者】				
【出版社】	【出版年】				
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	村松岐夫 『行政学教科書』 有斐閣 2011年 大森 彌 『自治体行政学入門』 良書普及会 2000年				
備考 (Other Information)	3分の1以上 (6回以上) の欠席は、単位不可とする。				
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	初回の講義で連絡方法を指示します。				